



埼玉県議会議員

わたなべ

渡辺 そいちらう

県政報告 Vol.7

保育・教育の質向上について議会で議論!

令和6年12月県議会で一般質問に登壇しました。多岐に渡る課題について政策提言を行い、改善に向けた答弁を引き出しました。

渡辺 保育の質・安全性を上げていく必要がある。近年は**不適切保育や保育所での事故**も多発している。児童福祉法施行令では年に一度の保育所への実施検査が必要とされているが、人員不足により書類確認で終わるケースも多い。着実に検査を行うため体制強化とともに専門機関による第三者評価も充実させていくべきだ。また保育士の処遇改善や保育士の加配を行う保育所へのサポートが必要と考えるが。



県の答弁 保育所の検査については**実地検査を担当する職員を増員**するとともに事務のデジタル化などで監査業務の効率化を図る。保育の質向上には第三者評価の充実は有効と考えるので、今後は**保育所が第三者評価を受診した場合のインセンティブ**などを検討していく。保育士の処遇改善については国に強く要望する。また保育士加配を行う保育所へのサポート充実については必要性の調査を進める。



渡辺 グローバル人材を育てるSTEAM教育の重要性が高まっている。STEAM教育は授業の専門性を高めることが必要。小学校において教科担任制が進んでいるが、専門教員の配置はまだまだ足りない。**県が計画性を持って専門性を持った教員の配置を進め**、STEAM教育等の質の高い教育を推進していくべき。

県の答弁 教科ごとに専門教員が授業を担当する教科担任制はSTEAM教育につながり、意義が高い。教員の授業負担の軽減効果も期待される。県では専門性の高い生徒指導を目指し、教科担任制を推進する。教科担任制の普及には国による定員増も必要であるため、定数改善の要望も行っていく。

※STEAM教育・・・Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Arts (芸術)、Mathematics (数学)を統合的に学習する。AI時代に創造性や課題解決力を育む教育。

学校制服の費用負担の軽減を

渡辺 物価上昇の影響もあり学校用品の費用負担が重くなっている。特に制服は業者の新規参入が図られず価格が高値で維持されるケースが散見される。**「指定物品の決定」や「業者選定のプロセス」**について透明性を高める必要がある。コンペ・入札・見積り合わせの促進、選定委員会への保護者枠の設定、その他費用負担軽減の取り組みが必要ではないか。



県の答弁 保護者の負担軽減策の周知を行うとともに**業者選定委員会に保護者を含める**など県立学校の校長を指導していく。また市町村教育委員会にも参考事例を周知し、公立学校の制服に係る費用負担軽減を促していく。

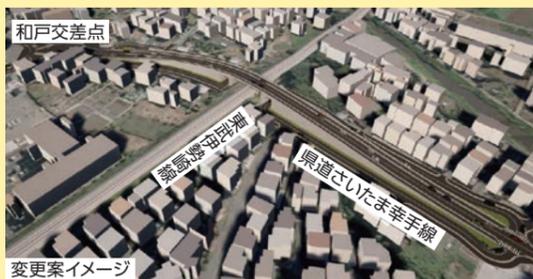


地域医療の強化に取り組んでいます!

小児医療の環境改善やがん対策についても力を入れて取り組んでいます。昨年の県議会で**がんの緩和ケア**の充実の必要性を訴えましたが、その後、県のがん診療拠点病院において、各地域で緩和ケアを行う事ができる医師や看護職、ソーシャルワーカーの育成を図っていく事になりました。また、宮代町の病院整備については昨年、国・県の病床規制を緩和する事ができました。今後は町と連携しながら病院の誘致交渉や具体的な計画づくりを始めていきたいと考えています。



和戸踏切の立体交差事業を前へ



渡辺 和戸踏切の立体交差事業については東武鉄道や警察との協議を進める中で、**事業の計画変更**が必要になったとの事だ。以前の計画は周辺住民が相互通行するための副道幅が足りない、副道に歩道が無い、安全な工事場所が十分確保できていないなど課題が多く、当初の見込みが甘かったと言わざるを得ない。副道を拓げるなど変更となるが、**計画変更は必要最小限に留めるべきだ**。また**地域への説明会**を早急に関き、合意形成を図っていく必要があると考えるが。

県の答弁 具体的な工事について改めて関係者と協議を重ねた結果、変更が必要となった。地元説明会を開き丁寧に説明していく。



高温障害に対する農業支援が決定



県議会で**農業の高温被害やカメムシ被害**について取り上げ、災害指定として**サポートすべきだ**と訴えました。その結果、高温被害については**県の支援が決定**し、読売新聞や埼玉新聞に取り上げられました。水稲高温被害について白岡市や宮代町も災害指定となり、被害に応じて補助が行われます。



米や梨など農業者の皆様から現状を聞き取り

県議会トピックス

インボイス制度の廃止を求める意見書を提出



自民党県議団が「インボイス制度の廃止を求める意見書」をとりまとめ、議会に提案しました。賛成多数で可決。インボイスは中小事業者への事務負担が大きくコスト負担も増加し、経営圧迫の要因になっています。昨年、埼玉県議会から国に対して、中小事業者への負担軽減や制度改善を検討してほしいという要望を出していましたが、**1年以上経っても改善に向けた姿勢が見られませんでした**。そうした国の対応を踏まえて、県議団として国・自民党本部に対して制度の廃止を求めています。



1年以上経っても改善に向けた姿勢が見られませんでした。そうした国の対応を踏まえて、県議団として国・自民党本部に対して制度の廃止を求めています。

埼玉県への警察官増員が決定!



プロジェクトチームにて

昨年、埼玉県議会から国に対して「警察官の増員を求める意見書」を提出していました。この度、要望の成果があり、政府の**令和7年度予算案に「埼玉県警察官175人の増員」**が盛り込まれました。埼玉県は、警察官1人当たりの負担人口が16年連続全国ワースト1位、また刑法犯認知件数が9年連続で全国ワースト1位、警察官の過度な業務負担が大きな課題です。埼玉県への警察官増員は平成30年からずっと行われませんでしたので、今回の増員は**治安強化に向けた重要な一歩**です。昨今は闇バイト対策などが大きな課題となっています。地域の安全対策の強化を図っていきます。

警察官の定数は法令で定められていて県独自で増やすのは難しいです。今回は他県と比べても大幅増となりました。要望の成果がありました!



活動日記



予算特別委員会で活動



新年に大野知事と



マチナカマルシェにて



消防団の表彰式で挨拶



自民党県議団の中で政策を提言



新年は地元神社から

渡辺 和典 プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。都内IT企業勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。2015年、2019年に白岡市議会議員に出馬し当選。白岡市議会では総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年から宮代町・白岡市選出の埼玉県議会議員として活動を開始。埼玉県議会では自民党県議団に入団。企画財政委員会、危機管理・大規模災害対策特別委員会、予算特別委員会に所属。家族は妻と二歳の娘。

発行日: 2025年2月11日
発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺 和典 政務活動事務所
連絡先: 〒349-0212 埼玉県新白岡4丁目8-4 シオン102 TEL 0480-53-3623
MAIL soichirowt21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X



Webサイト



Instagram